

簡素で効率的な行政組織の推進を求める決議（案）

平成 18 年 3 月に 1 市 3 町が合併し、嘉麻市が誕生しましたが、合併当初の混乱期は、合併の特例とは言え、議員も職員も多く異常な状態となりました。

その中で、平成 19 年 6 月に執行部において、嘉麻市組織改編計画が策定され、当時 523 人いた職員を平成 27 年度には 400 人とする職員定員適正化計画が示されました。

また、組織機構の改編方針では、本市の財政に鑑み、類似団体等の標準的な組織構成にとらわれない、より効率性を追求した簡素な組織とするほか、分庁による事務不効率性の解消を検討することも示されています。

平成 21 年 4 月には、7 部 2 局 39 課を 5 部 1 局 32 課に改編し組織のスリム化を図り、その後の人事配置としては、部長制の廃止を見据えた人事配置となっており、部長級幹部職員の退職後の後任人事は、部長職への昇格を見送り、副市長直属とし、課長職での対応を行ってまいりました。

一方、議会においても、法定定数 26 名の議員定数に対し、平成 23 年の一般議員選挙から議員定数を 22 名とし、更に、次期一般選挙からは 20 名と効率的な議会運営と本市の財政に寄与すべく努力しているところであります。

よって、本市議会は、嘉麻市の行政組織の編成に当たっては、当初の組織改編計画に則り、本市の財政状況を考慮するとともに、福岡県内では部長制を採用していない市は数少ないが、類似団体等の標準的な組織構成にとらわれない、身の丈にあった、より効率性を追求した簡素な組織とすることを強く求めるものです。

以上、決議する。

平成 24 年 3 月 19 日

嘉麻市議会